

酪農を持続可能に

～Meiji Dairy Advisory
(メイジ・デイリー・アドバイザリー) による経営支援～

2026年3月2日

(株)明治 調達本部酪農部生産グループ
木村 康行

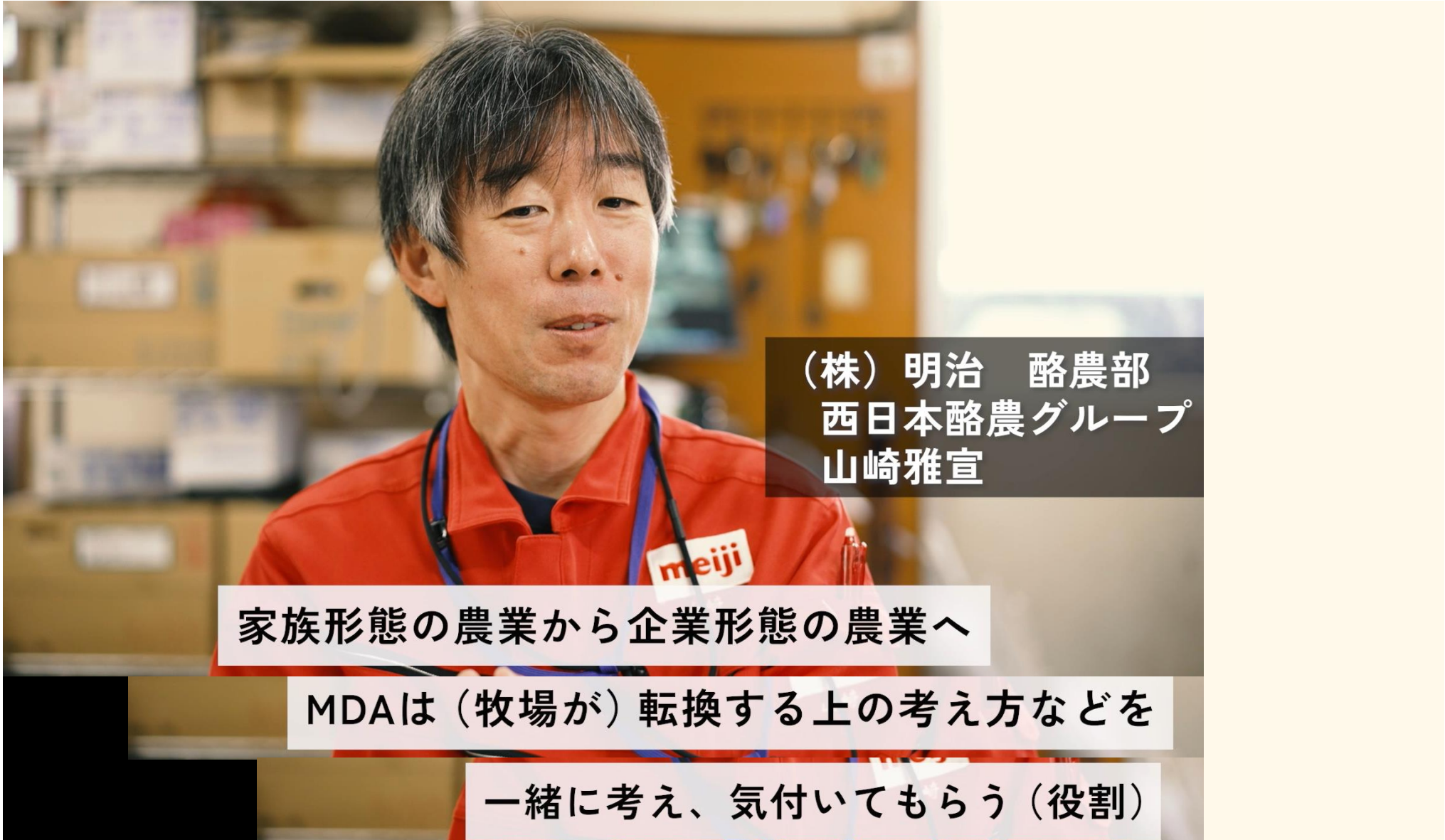


サステナブルな酪農経営を支援する

Meiji Dairy Advisory

(メイジ・デイリー・アドバイザー)

取り組み内容



(株) 明治 酪農部
西日本酪農グループ
山崎雅宣

家族形態の農業から企業形態の農業へ

MDAは（牧場が）転換する上の考え方などを

一緒に考え、気付いてもらう（役割）

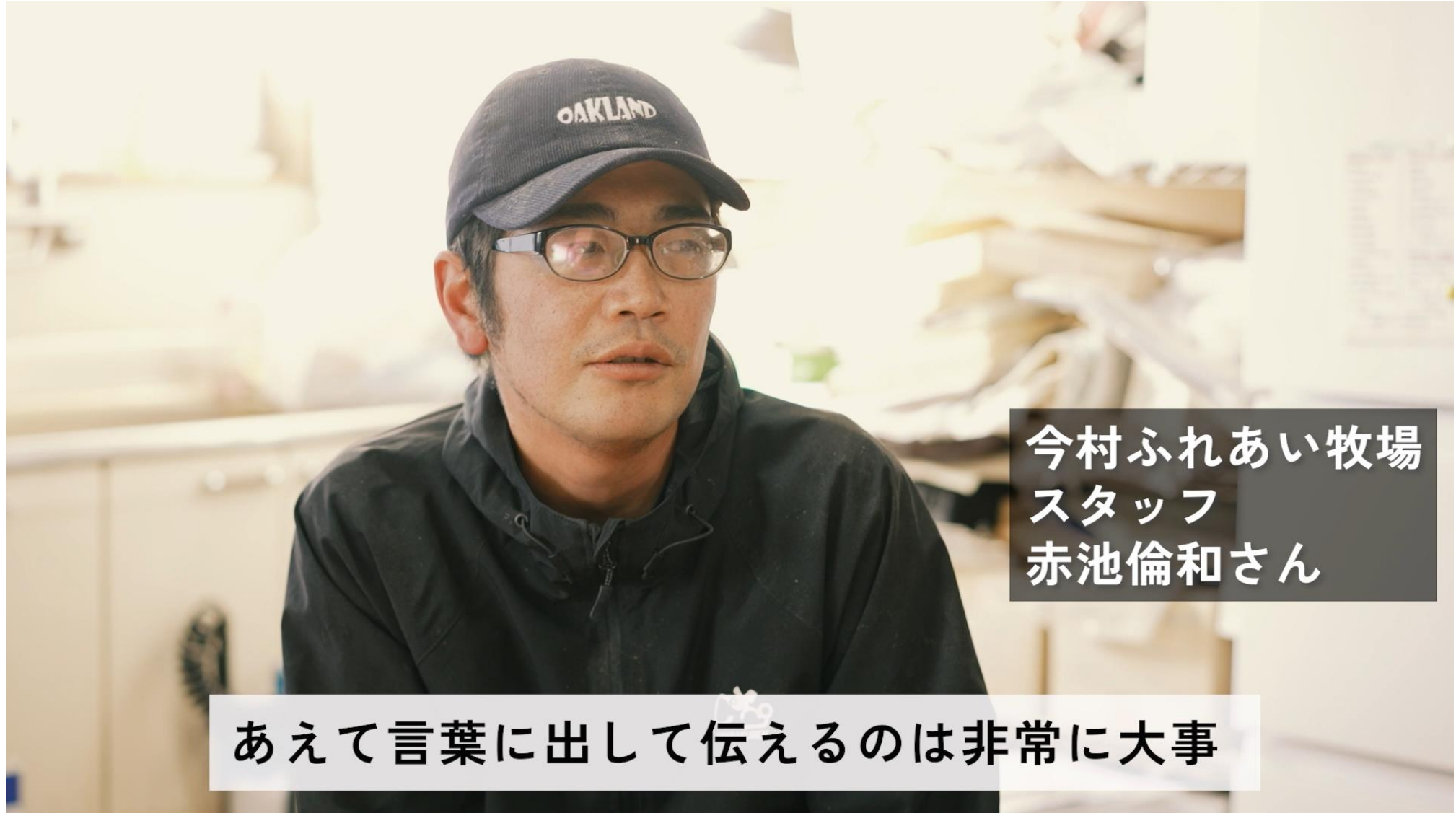
今村ふれあい牧場さま（福岡県）の悩み

MDAを始めたきっかけ

今村ふれあい牧場
今村浩星 社長

従業員が定着しない、すぐ辞めてしまう

取り組みの中での気づき





単独作業も多いなか、他のスタッフの動きにも関心をもち
作業中の小さな気付きも共有するようになった

事例紹介 今村ふれあい牧場さま（福岡県）



- ・スタッフが定着しない
- ・外国人スタッフとのコミュニケーションの深め方がわからない

経営理念の浸透



作業立会・勉強会



ミーティング運営



- ・ **言葉で伝える** ことが大切であると気づいた
- ・ 言葉の壁があっても **「お互いが理解しようとする姿勢」** が良い関係性に繋がる

はまだ牧場さま（山形県）での取り組み



はまだ牧場
濱田奈穂子

——MDAで気づいたこと
牛床が汚れていないかなど
牛の様子をじっくり見るようになりました

取り組みの成果



1年ぐらい経った頃から
疾病率を6割減らすことができ、目標を達成



今は統計をとり、出荷までの成長を
定点観測をして疾病の機会を見逃しません

事例紹介 はまだ牧場さま（山形県）



- ・社長の奥様は農場の哺育部門を任されることになった
- ・作業スキルを高めたい／子牛の疾病を減らしたい

カイゼンチーム



ベストプラクティス
作業標準化



- ・子牛の観察とデータ記録を習慣化し、疾病を減らせた
- ・現在、奥様は**作業に自信を持ち**、作成した手順書を新人に教えている

(株)Moimoiファームさま（新潟県）での取り組み

MDAに参加した成果は？

搾乳作業の前後にミーティングで
【情報交換の場】をつくった

取り組みの成果



MDAに参加した成果は？

牛の変化に気づき 出荷する乳質が向上した

MDAに参加した成果は？

日常的にミーティングを行う時間を取り
日々の作業で気づいたことが共有できる

事例紹介 (株)Moimoiファームさま (新潟県)



- 作業メンバー間での連絡事項の共有が不十分だったため、「治療牛の乳を誤って合乳するミス」が起きていた

目標設定／進捗管理



情報共有の仕組み



- 治療牛の連絡不足による乳質トラブルを防止できた
- 定期的なミーティングの実施により、**風通しの良い職場環境を築く**ことができた

友夢牧場さま（北海道）の取り組むきっかけ

Q.1 MDAに取り組むきっかけは？

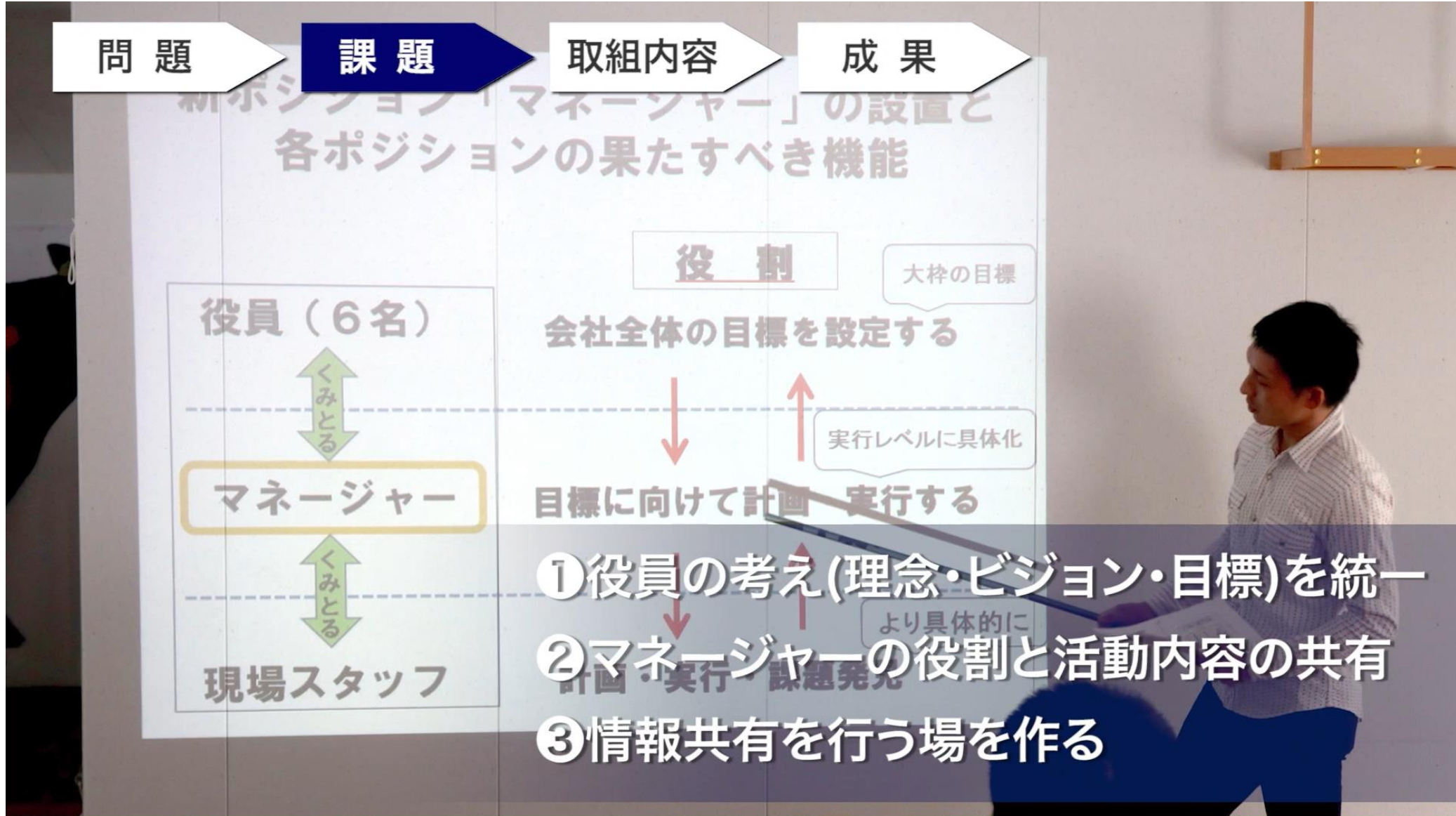
それなりに規模を拡大して、従業員も増えてはいたんですが、
やっぱり役員間の意思の疎通や、目標の統一、
そこが今ひとつよくできてなかった。

取り組みの目標



役員・マネージャー・現場が果たすべき役割を整理し、
大規模経営に必要な管理体制の確立・仕事の標準化を目指す。

取り組み課題



取り組み内容① 企業理念・行動指針の作成

問題 課題 **取組内容** 成果

① 企業理念・行動指針の作成

企業理念

「友」と「夢」を共に育み
地域社会に貢献する

～酪農!無限大の可能性を楽しむ～

取り組み内容② 会社目標の設定



取り組み内容③ 部門目標の設定・部課長会議の実施

問題

課題

取組内容

成果

③部門目標の設定・部課長会議の実施



事例紹介 友夢牧場さま（北海道）



- ・5軒の農家が経営統合を進め規模を拡大し、スタッフの増員を行う過程で課題が生じた
- ・役員間のコミュニケーションが十分でなく役割分担が明確でなかったため、作業の負担に偏りが出て、休みも取りにくい状況となっていた

役員意思統一



権限移譲



会議体の整理



- ・**課長の役割と権限を明確化**することで、当事者意識や責任感が向上した
- ・**スタッフ一人ひとりが自ら考え行動する**ようになり、著しい成長が見られている

さいごに

今村ふれあい牧場
(福岡県久留米市)

- ・国内の生乳生産は20年以上減り続けており、

「多様な人材が企業理念のもとひとつになる」

お客様に牛乳乳製品をお届けできない未来が来る

かもしれないという危機感がある

- ・酪農現場の抱える課題に対応する **「鍵」は「人」** である

はまだ牧場
(山形県米沢市)

- ・私たちが目指す姿は

「哺育ルールの見直しから、持続的な酪農」

農場自らがカイゼンを続ける文化が根付くこと である

健康にアイデアを

meiji